

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び

II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成

III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築

IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成

V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

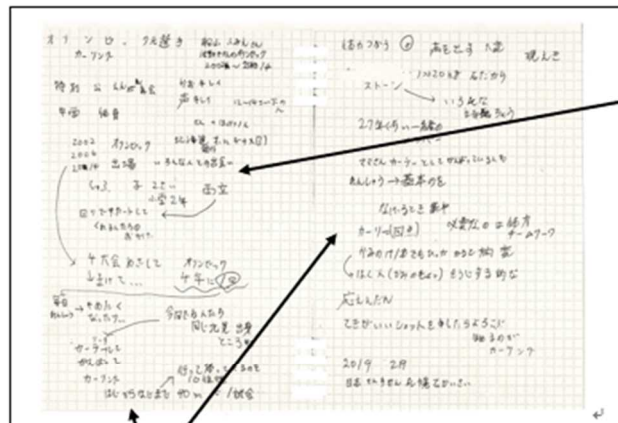
道府県・政令市名【 札幌市 】

1 実践テーマ	【I、Ⅲ、V】
2 実施対象者	札幌市立稲穂小学校 5, 6 学年 190名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (道徳) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目 標 (ねらい)	・オリンピックによる講話を通して、オリンピックやパラリンピックへの興味関心を高めるとともに、スポーツを愛する心を育むきっかけとする。 ・オリンピックとの関わりを通して、困難を乗り越える心と体の強さ、自分を支えてくれる方々への感謝、夢に向かって努力することの素晴らしさ等を学び、自分のこれからの生き方についての考えを深める。
5 取組内容	体育館にて、5, 6年生全児童がカーリング元日本代表の船山弓枝選手講演会を聴くとともに、事前学習や当日の講話を通して、さらに深く知りたいことについて質問をする。 ○指導計画 【道徳：3時間扱い】 1 時間目：事前学習 オリンピック・パラリンピックに関する調べ学習を行い、オリンピックやパラリンピックが成立した意義や協議内容、日本の関わり（東京五輪・札幌五輪・長野五輪）等についての理解を深める。 2 時間目：オリンピックによる講演会 オリンピック（カーリング元日本代表、船山弓枝選手）を招いての講話による学習を行う。

3時間目：事後学習

講話を通して学んだことをまとめるとともに、よりよく生きるということや自分のこれからの生き方についての考えをもち、交流する。

【児童の講演会メモ①】



ねらい②

自分を支えてくれる
方々への感謝

【児童の講演会メモ②】

ねらい①

オリンピック、競技
への興味・関心

ねらい②

困難を乗り越える
夢に向かって努力する



6 主な成果

事前にオリンピックやパラリンピックに関する理解を深める学習を行っていたため、多くの児童が、オリンピックである船山選手の講話を楽しみにしていた。講話は、カーリングを始めとするスポーツの世界だけではなく、子どもたちが普段取り組んでいる習い事や学習にも通じるものばかりであった。特に「失敗から学ぶ」、「感謝の気持ちをもつ」ということを、船山選手の体験談から分かりやすくお伝えいただけた。また、児童の質問の内容も、「緊張に負けないようにするには？」など、自分事として講話をとらえている様子が見られた。

7 実践において工夫した点 (事業の特色)

取組の内容に記載した通り。

8主な課題等	・講話という形もひとつの学習ではあるが、児童が主体的にオリンピックやパラリンピックに関わりながら、道徳的価値に気付けるような単元構成や、学習展開の工夫の余地があった。例えば、児童が主となり、インタビュー形式で、講師の生き方や考え方に迫っていくような展開も考えられる。 ・事後の学習の在り方にも工夫の余地がある。総合的な学習をはじめ、該当学年の実態に応じ、他教科と関連付けながら学びを深める計画を準備していきたい。
9来年度以降の実施予定	経費や講師の確保等、持続可能な仕組みづくりを検討している。